

## 【お詫びと訂正】

「高校入試出題率70%以上の問題数学」におきまして記載に誤りがございました。

下記とおり訂正し、お詫び申し上げます。(版によって訂正済みのものをごぞいます)

また、一部の本におきまして、P.47 大問②の問題と別冊解答 P.16 「関数と図形」②の解答・解き方が整合していない本がございました。ご迷惑、ご不便をおかけしまして大変申し訳ございません。

### ◆本文 P.47 大問②

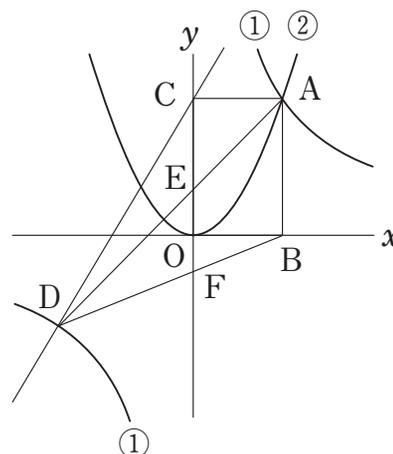
(誤) 千葉の「右図のように、3点 A (6, 6), B (4, 2), C (0, 1) ……」の問題

→解答 P.16 に載っている解答・解説と合いません。また、(2)の、「点 P の  $x$  座標は正とする」という条件で問題が成立しませんので、以下の問題に差し替えてください。

(正)

右の図において、曲線①は反比例  $y = \frac{6}{x}$  のグラフであり、曲線②は関数  $y = ax^2$  のグラフである。

点 A は曲線①と曲線②との交点で、その  $x$  座標は 2 である。点 B は  $x$  軸上の点で、線分 AB は  $y$  軸に平行である。点 C は  $y$  軸上の点で、線分 AC は  $x$  軸に平行である。また、点 D は曲線①上の点で、その  $x$  座標は  $-3$  である。原点を O とする。線分 AD と  $y$  軸との交点を E、線分 BD と  $y$  軸との交点を F とし、三角形 DFE の面積を S、四角形 AEFB の面積を T とするとき、S と T の比を最も簡単な整数の比で表せ。



### ◇解答別冊 P.16 関数と図形 ②

② ①に  $x=2$ ,  $x=-3$  をそれぞれ代入して、

$$y=3, y=-2$$

よって、A(2, 3), B(2, 0), C(0, 3), D(-3, -2)

AD, BD の式はそれぞれ  $y = x + 1$

$$y = \frac{2}{5}x - \frac{4}{5}$$

$$E(0, 1), F\left(0, -\frac{4}{5}\right)$$

D から  $x$  軸に平行な線分を引き、 $y$  軸との交点を H とする。

$$\triangle DFE = \frac{1}{2} \times EF \times DH$$

$$= \frac{1}{2} \times \left(1 + \frac{4}{5}\right) \times 3 = \frac{27}{10} \dots (S)$$

四角形 AEFB =  $\triangle OBF$  + (台形 OBAE)

$$= \frac{1}{2} \times \frac{4}{5} \times 2 + \frac{1}{2} \times (1 + 3) \times 2 = \frac{24}{5} \dots (T)$$

$$S : T = \frac{27}{10} : \frac{24}{5} = 27 : 48 = 9 : 16$$

(答え) **S : T = 9 : 16**

### ◇本文 P.2 太枠内(4)

(誤)  $\frac{5}{9} \times \left(-\frac{3}{20}\right) \times \left(-\frac{1}{2}\right)^2$

(正)  $\frac{5}{9} \times \left(-\frac{3}{20}\right) \div \left(-\frac{1}{2}\right)^2$